

請願第1号

土曜授業の中止を求める請願

紹介議員 星野 幸治

(請願趣旨)

私たちは、学校が一人一人の子供たちに行き届いた教育を保障する場であってほしいと願っています。また、全ての子供たちにとって笑顔で生き生きと生活できる場であってほしいと願っています。

そのためには、教育条件の抜本的改善が必要です。未来を生きる子供たちや保護者・学校教職員が切実に願っている条件整備を行っていただきたいと考えています。

10年前に始まった野田市の土曜授業は、当初、野田市内の小中学生の学力向上を目的に始められました。この10年の土曜授業の推移を見ると、学力向上に資する授業を、地域の特性を生かした授業を、平日の授業の延長線上で有効な授業を、とその時々野田市教育委員会の見解は変化してきました。このことから、私たちはこの10年間で土曜授業による学力向上の確かな成果は得られなかったことを意味するものと考えます。

その一方で、子供と教師への負担感は増えています。県内の土曜授業の実施自治体は野田市だけということもあり、子供たちの土曜授業への意欲は低下し続けています。7月、9月の猛暑の中、僅か3時間の授業のために登下校することで、体力的にも負担を強いられている子供もいます。教員の働き方改革が叫ばれる中、土曜日の勤務時間と土曜授業のための準備・調整に要する時間は、他市の教職員よりも明らかに超過分として上積みされています。

そこで、野田市の教育の充実発展のため、以下の請願項目について検討し、実現に向けて御努力いただくように強く要望するものです。

(請願項目)

以上の点を踏まえて、私たちは、子供たちが生き生きと学び、教師がゆとりを持って働く野田市に変えたいと考え、土曜授業の中止を求めます。

令和6年2月26日

野田市議会議長 山口 克己 様

請願者

柏市明原1-5-12 東葛教育会館201号

東葛教職員組合気付

ゆきとどいた教育をもとめる野田連絡会

代表 坂野 大輔